

## 平成20年第1回定例会一般質問

平成20年第1回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日時 2月27日(水)、28日(木)、29日(金)、3月3日(月) いずれも午前10時から

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話 042-387-9947)

2月27日(水)

氏名	発言の表題
露口 哲治	1 武蔵小金井駅を特別快速電車等の停車駅にするための方策を問う
	(1) 中央線連続立体交差化事業(高架)の負担額を沿線六市と比較して
	(2) 高架複々線化と立体交差(高架&地下)複々線化の違いを比較して
	(3) 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会、沿線六市での位置づけ
紀 由紀子	(4) 武蔵小金井駅南口交通広場と北口広場のバス路線網を充実すれば、武蔵小金井駅利用客は増える
	1 子育て支援の拡充について
	(1) 板橋区のような「赤ちゃんの駅」を設置しないか
	(2) 子育て支援サービスの周知について
鈴木 洋子	2 AED(自動体外式除細動器)
	(1) 夜間の対応はどうか
	(2) AEDを内蔵した自動販売機を設置しないか
	1 救急医療体制の対応は万全か
宮下 誠	(1) たらい回しの現状はないか
	(2) 妊婦健診を受けない飛び込み出産の対応はどうしているか
	2 離婚前妊娠、無戸籍児の市の対応を問う
	3 災害時に自力で避難できない高齢者等「災害時要援護者」に対して支援体制は整備されているか
宮崎 晴光	1 ペットボトルのキャップ(フタ)回収によって、国際貢献をしないか
	(1) 「ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けよう」運動について
	(2) 市の各施設や小・中学校、または各家庭で、ペットボトルのキャップを回収しないか
	2 都市に眠る貴重な資源「レアメタル」を回収しないか
高木 真人	(1) 携帯電話回収を促進する東京都の取り組みについて
	(2) 都が主催する合同協議会に積極的に参加し、エコポイント制度などを提案しないか
	(3) 市役所など、市の施設に特製回収ボックスを置かないか
	1 東小金井駅北口区画整理の進め方
渡辺 大三	(1) 仮換地決定への進捗状況はどうか
	(2) 仮換地指定・工事の順序はどうなっているのか
	(3) 権利者の生活再建のためにも、3年程度の予定は示すべきだ
	(4) 道路特定財源と区画整理事業の関連性を問う
高木 真人	1 道路特定財源に係る暫定税率維持について
	(1) 継続しない場合の小金井市の影響について
	2 災害時の市道等応急対策の協力体制について
	(1) 職員体制と資材について
渡辺 大三	(2) 道路等維持補修工事について
	(3) 2月の大雪時の道路等緊急対策について
	(4) 東京都同様に緊急時の道路補修協定を締結しないか
	1 武蔵小金井駅南口再開発事業について
(1) 駅前ロータリーの敷地はいつ確保されるのか	

2月28日(木)

渡辺 大三	1 武蔵小金井駅南口再開発事業について
	(1) 駅前ロータリーの敷地はいつ確保されるのか

	(2) 各街区への権利者の入居は、完成した街区からか。全街区完成後か
	(3) 権利者への通損補償について
	(4) 1-3街区について
	(5) 第2地区と庁舎問題との関係について
	2 学校の安全確保について
	(1) 校門付近の自動車の通行に関する考え方と対応を問う
	(2) 避難口の確保について問う
	3 燃やすごみの処理問題等について
	(1) 平成19年4月からの広域支援への移行は本当に不可避だったのか
	(2) 12月議会において全会一致で可決した「広域支援早期解消に努める決議」の具体化を
村山 秀貴	1 市立はげの森美術館の積極的なアピールを求める
	(1) 入場者を増やすため様々な方策を試すべき
	(2) 更なる対外的なアピールが必要だ
遠藤百合子	1 防災意識の更なる高揚を
	(1) 中学生の参加型防災訓練を全中学校に広げないか
	(2) 74%の世帯が自主防災組織に未加入である。現状をふまえた上で、より有効な防災意識の共有を図るには
	(3) AEDの民間施設設置に向けて検討しないか
	2 新型インフルエンザ対策のすすめ
	(1) WHOが「最大脅威」と位置付けた「H5N1」の知識の共有を図るには
	(2) その対策として国や都・保健所・消防署・医療関係者等と連携し最善の方法が選択できるよう準備をはじめないか
	3 貫井南町1丁目の東八道路南側地域に貫井前原循環のココバスを回せないか
水上 洋志	1 市民の健康づくりを旺盛に
	(1) 健康づくりの必要性についての認識を問う
	(2) 健康づくりの長期的な目標を持ち、そのための計画を持つべきではないか
	(3) 市民が主体となった健康づくりの推進を
	2 住居喪失不安定就労者サポートセンター設置にともなう、市の対策強化を
	(1) 青年の現状について改めて問う
	(2) 相談窓口の設置や家賃援助などの実施について
	3 北大通り梶野町2丁目の信号機の改善を求める
関根 優司	1 認知症、老老介護、日中独居の高齢者への介護ヘルパー制度を
	2 就学児の医療費無料化制度の実現を
	3 都市計画決定されていない連雀通りの安全対策の前進を
	(1) 二中へ下りる坂の入口の対策を
	(2) 電柱の移設の検討を
	(3) 交互の一方通行の検討を
	4 請願(18請願第1号)が送付されたパーキングメーター設置の実現の努力を
	5 上之原会館付近にココバスのバス停を
五十嵐京子	1 市民活動センターの設置を検討せよ
	(1) 拠点の整備に関して現在の考え方、並びに今後の計画は
	(2) さらに市政への参加を増やすために、団塊の世代を中心としたアンケートを実施しないか
	2 井戸を活用した街づくりの推進を

2月29日(金)

野見山修吉	1 さくらカードで納税できるように
	(1) さくらカードの普及の課題は
	(2) さくらカードのポイントで市民税や利用料の納入を
	2 NPO支援の拡大を
	(1) NPO支援の到達段階は
	(2) 税制面からの支援を
	3 総合窓口の実現を
	(1) 実現に向けた協議、検討の到達段階は

	(2) 早期実現のための課題の解決を
	4 社会構造の変化を見据えた長期的財政運営を
	(1) 中長期の社会動向と構造変化の見通しと財政運営を検討する専門家による研究会の設置を
板倉 真也	1 市内の中小・零細業者、地域商店街の活性化に向けた施策の拡充を
	(1) 地域商店街の振興施策はどうあるべきか
	(2) 小額等随意契約希望業者登録制度の改善・充実を
	(3) 市発注工事を適正な工事施工にしていくための取り組みについて
	(4) 市内業者の施工に限定した住宅リフォーム助成制度の確立を
	2 生活保護受給者の生活支援策の拡充を
	(1) 灯油購入費助成を
	(2) 夏・冬一時金の復活を
斎藤 康夫	1 他市に迷惑をかけないために「暫定処理により広域支援脱却」のプロポーザルコンペを実施し、可燃ごみの広域支援を早期に解消すべきである
	(1) 現在の可燃ごみ全てを市内で処理する方法の提案を求める
	(2) 現在の可燃ごみを1/3に減量することにより、国分寺市以外の広域支援を解消する方法を求める
	2 プロポーザルコンペの基本的条件
	(1) 敷地の提供及びごみの搬入は小金井市がし、新処理施設が本格稼動するまでの平成29年3月末日までとする
	(2) 予算は広域支援に必要な経費以内とする
	(3) システムの基本技術を明確にする
	(4) 短時間で建設可能なシステムとする。環境影響評価等設置に伴う手続き、建設期間等を明確にする
	(5) 生成物の成分を明確にし、その物に合った販路、処理方式とし、環境に対する影響を及ぼさない処理をするものとする
	(6) 熱源の種類、消費量、CO <sub>2</sub> 排出算定書を明らかにする
	(7) 処理量は小金井市が排出する可燃ごみの総量から6000t/年を引いた量以上とする
	(8) 良好な処理が出来た場合は、新処理施設の処理方法の候補として検討することが可能である
	3 可燃ごみ減量のための補助金交付事業を募集すべきである
	(1) 市内において可燃ごみ減量のための処理システムを稼働させ、可燃ごみを減量した実績に基づき、4.5万円/t程度の補助金を交付する事業である
	(2) 処理量は10t/日以上とし、基本的条件はプロポーザルコンペに準じるが、処理方式は焼却以外の方法とする
	4 可燃ごみの乾燥システムを導入すべきである
(1) 可燃ごみの大半は水分である。水分を除去することにより大幅なごみ減量が可能である	
(2) 低圧、低温乾燥システム	
(3) 遠心分離による脱水システム	
小山 美香	1 環境に配慮したまちづくりを進めるために
	(1) 環境マネジメントシステムの活用について
	(2) 発生抑制の視点に立ったごみ減量を更に進めよ
漢人 明子	1 エコ偽装の責任の明確化と再発防止に向けた対応を
	(1) 再生紙の古紙パルプ配合率、大豆油インク、再生プラスチックなどのエコ偽装問題に関する市の見解を問う
	(2) 市の被害状況について
	(3) 今後の対応について

3月3日(月)

森戸 洋子	1 心身障がい児、発達障がい児の子育て支援の場—子ども発達センターを設置しないか
	(1) 心身障がい児、発達障がい児の早期発見・相談・療育の連携について
	(2) 2006年3月の児童福祉審議会答申で指摘されたピノキオ幼稚園の課題の具体化と進捗状況について
	(3) ピノキオ幼稚園の移転について、利用者や関係者、専門家を含め、施設のあり方を検討しないか

	(4) 子ども発達センターの設置について、市の見解を問う
	2 低所得者への生活支援策について
	(1) 都の生活サポート事業について
	(2) ひとり親家庭の生活支援施策を充実しないか
	3 「官製ワーキングプア」をつくらないために
	(1) 正規職員削減のもとで本来の補助的役割ではなくなっている非常勤職員を小金井市はどのように位置付けるのか
	(2) 非正規職員の大半が60歳以下であり、賃金は生活給。賃金のあり方など待遇改善を進めるべきではないか
伊藤 隆文	1 道路特定財源に関わる税の暫定税率が維持されずに廃止された場合、小金井市の都市基盤整備への影響などを問う
	(1) JR中央線の高架化による踏切解消、高架下利用は遅れるか
	(2) 武蔵小金井駅南口の街づくりで駅前交通広場や区画道路整備、電線共同溝化等及び小金井街道東側商店街の活性化整備はどうするか
	(3) 武蔵小金井駅北口の駅前広場と周辺の整備計画、バスUターン場所の跡地利用計画はどうするか
	(4) 東小金井駅北口の街づくりで道路整備・東大通りの拡幅で東小金井北口商店街の活性化整備はどうするか
	(5) 連雀通り、東大通り等の都市計画道路の拡幅整備への影響はどうか
和田 茂雄	1 再び問う、学校給食やレストランから出る廃食油を回収して、カーボンニュートラルといわれる植物由来の燃料に転換する事業を始めないか
	(1) 学校給食やレストランなどから出る使用済み油を回収して、軽油代替のバイオディーゼル燃料に変換し、利用を拡大することでCO <sub>2</sub> の削減に貢献できる
	(2) 天然ガスは、CO <sub>2</sub> の排出量が石炭の5割、石油の7割ですみ効果的だが、バイオ燃料は、更に、カーボンニュートラルで排出量ゼロとなる
	(3) 廃食油のリサイクルで、下水管が油で詰まるのを防ぎ、東京湾のオイルボール発生を抑止できる
	(4) 今後、バス事業者や国分寺市など周辺市と共同で事業展開すること、また家庭からの食用油を回収することで、大きな効果が期待できる
中根 三枝	1 JR中央線高架事業に伴う街づくりについて進行しているか
	(1) 武蔵小金井駅南口
	(2) 東小金井駅北口
	2 歩道上に鎮座している樹木、電柱について